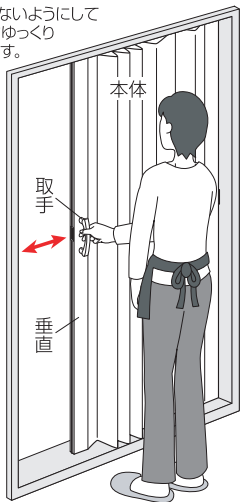


操作方法

操作する前に必ず確認してください。

- レールが取付位置にしっかり固定されていますか？
 - マグネット受板が取付位置に正確にしっかり固定されていますか？
 - 周辺に障害物等がありませんか？
- 上記3項目が確認できましたら、必ず取手を持ってゆっくり操作してください。(下図参照)

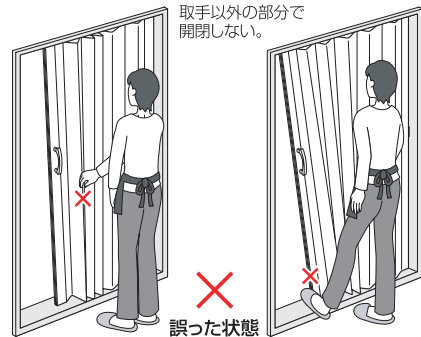
ドアが傾かないようにして取手を持ちゆっくり開閉させます。



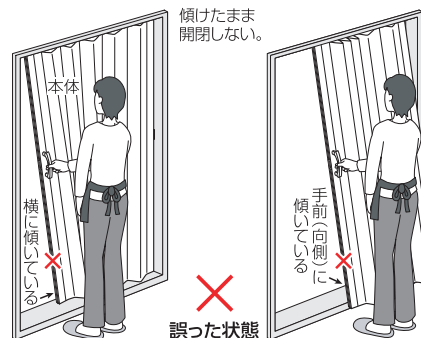
正しい状態

次のような誤った操作はしないでください。

注意 下図のような操作をしますと故障、又は破損の原因になりますので、おやめください。



誤った状態



誤った状態

取扱い上の注意

※アコーデオンドア本体を強い力で引っ張ったり、ぶら下がったりしますと、破損の原因や落下する場合があります。危険ですのでおやめください。(特に小さなお子様のアコーデオンドア本体にぶらさがったりしますと思わぬケガをする恐れがありますので、十分にご注意ください。)

※製品の性質上、レザーにシワがある場合がありますが、使用上問題ありません。

※気温変化によりレザーのシワが伸びにくい場合もありますが、使用上問題ありません。



アコーデオンドア

取付方法及び取扱説明書

NJ-1

このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。この取付方法及び取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いいただきますよう、お願い致します。そのあと大切に保管し、わからないときは再読しご利用ください。

はじめに

この製品を取り付ける前に、梱包されております部品(レール、木ネジ、マグネット受板)等をご確認ください。万一不足している場合、もしくは不良品がございましたら、販売店又は発売元までご連絡ください。

取付時の注意

- ※火気、熱を発するもののそばには取り付けしないでください。熱で燃えたりする恐れがあります。
- ※この製品は木ネジを使用して取り付けますので、**取り付け場所が木部(板厚10mm以上)**であることを確認の上、取り付けてください。
- ※石膏ボードへの取り付けは壁面を破損したり、落下する恐れがありますのでおやめください。
- ※取り付けに際しては付属部品(レール、マグネット受板、木ネジ)等の取扱いには、ケガをしない様十分にお気を付けてください。なお、危険ですので、小さなお子様の手に触れない様ご注意ください。
- ※本体の分解・改造及び部品の改造は、絶対にしないでください。

取付用部品明細

部品名	姿図 / 入数
レール	 レール(小) レール(大) 伸縮可能 1セット
木ネジ	 10本
マグネット受板	 2枚

- 必要工具 ⊕ドライバー
- (レール取り付け時使用)

- 主な材質 レール本体：スチール
ドア本体：表面 塩化ビニール

※製品は改良の為、仕様を変更する場合がございます。ご了承願います。

※取付方法は裏面をご覧ください。

MADE IN CHINA

201601

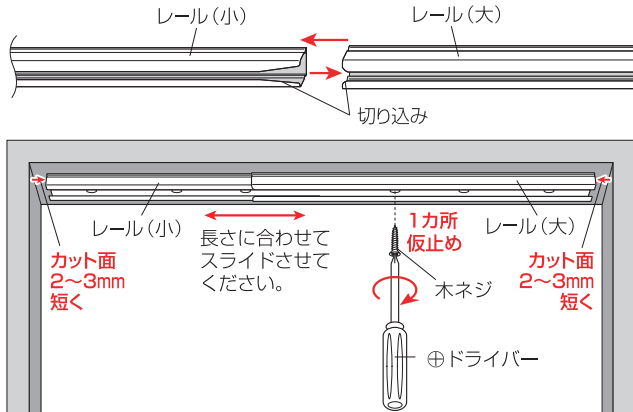
発売元 **株式会社フルネス**

〒362-0021 埼玉県上尾市原市 1170-1

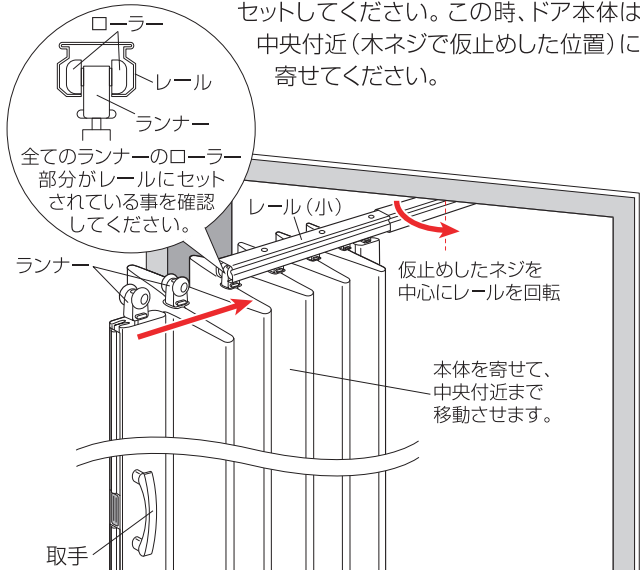
取付方法

- 1 レールを取り付け場所の幅より約5mm短く長さを調節し、中央付近のネジ穴に付属の木ネジで仮止めしてください。

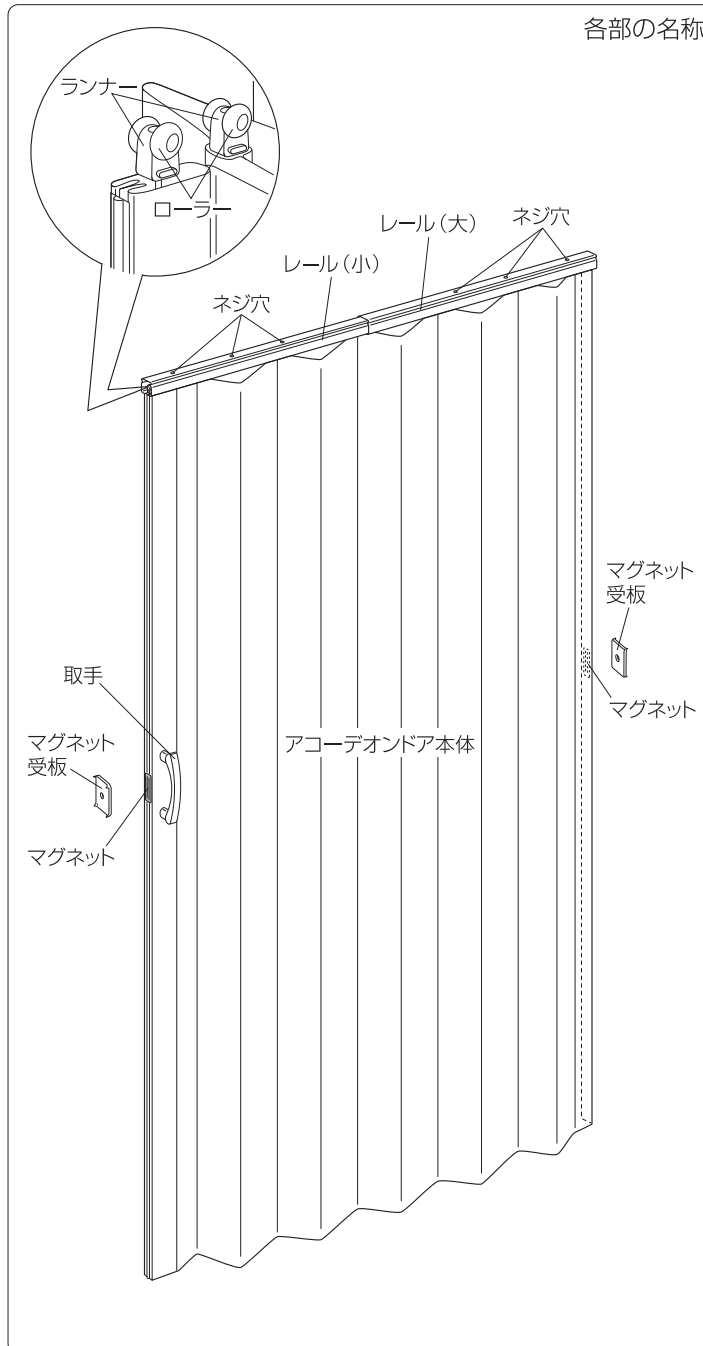
注意 レール(大)(小)をレールの端面に切り込みがある側を合わせて、セットしてください。なお、レールの端面、及びカット面は鋭くなっていますので手にケガをしない様、取り扱いには十分お気を付けてください。



- 2 レールを仮止めたネジを中心に回転させ、ドア本体についている取手がレール(小)側にくるようにした後、ランナーをレールにセットしてください。この時、ドア本体は中央付近(木ネジで仮止めた位置)に寄せてください。

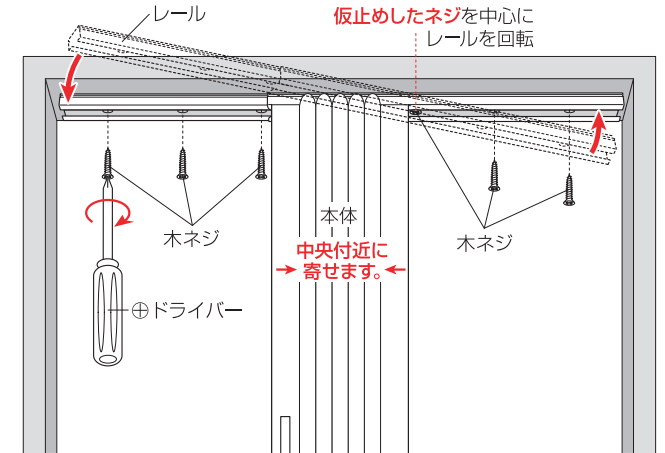


注意 レール(大)(小)のカット面は鋭くなっていますので手にケガをしない様、取り扱いには十分お気を付けてください。

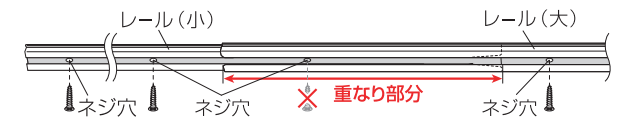


各部の名称

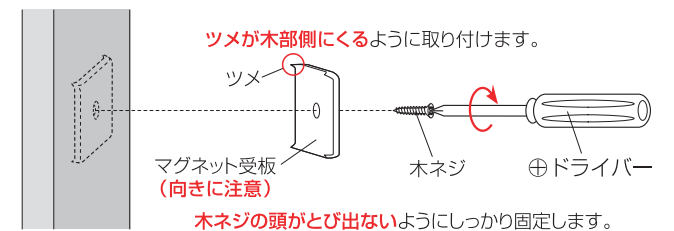
- 3 ドア本体を中央付近に寄せたまま、仮止めた木ネジを中心に回転させてレールを取付位置に戻した後、ネジ穴全て、付属の木ネジでレールをしっかり固定してください。なお、中央付近に仮止めされた木ネジも忘れずにしっかり締めて固定してください。



注意 レールの重なり部分のネジ穴には、木ネジを打たないでください。



- 4 マグネット受板の向きを確認し、柱面(木部)に前後1カ所(計2ヶ所)を付属の木ネジでしっかり固定してください。(マグネット受板をドア本体のマグネットに付けて取付位置に合わせてください。)



注意 マグネット受板の向きを間違えますと木ネジの頭が飛び出て、ツメが外向きになり、非常に危険です。必ず、マグネット受板の向きを確認し、正しい向きで取り付けてください。また、マグネット受板のツメはとがっていますのでケガをしない様、取り扱いには十分お気を付けてください。

※操作方法は裏面をご覧ください。